東北駆け込み寺 いろは横丁だより

2024.02.01
41号

2024年1月オフ会報告 （他団体に学ぶ 「NPO法人 仙台支え愛サポートセンター」様）

代表理事の新井純さんより、仕組みや活動実績を説明して頂きました。ポイントは『有償ボランティア』。

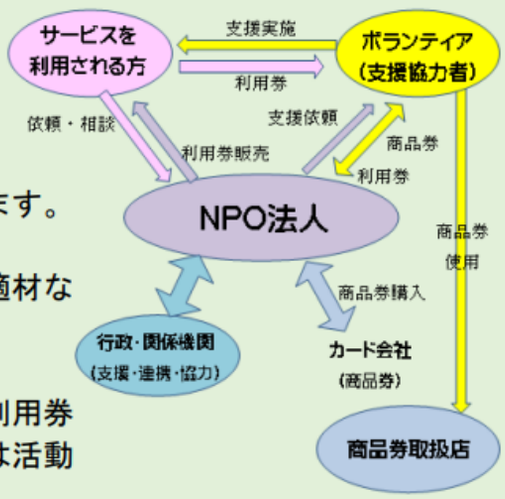
【地域支え愛事業の仕組み】

①有償ボランティアの募集・登録
何か人の役に立ちたいと考えている人を募集・登録。

②困りごとの募集・受付
身の回りの困りごとなどの申込みを電話等で受付します。

③困りごとと登録人材のマッチング
お手伝いの内容に応じて、登録されている人材から適材なボランティアを選んでマッチングを行います。

④利用券の販売及び謝礼（商品券）の贈呈
お手伝いの申込みをした人には、１時間３００円の利用券を利用時間に応じて購入して頂き、ボランティアには活動に応じて地域の商店で使える商品券を贈呈します。



地域の役に立ちたいと、人も物もお金もない状況で法人を立ち上げた新井さん。どうしてよいか悩んだ時に、日本駆け込み寺の玄さんから頂いた「君の情熱が資本金だ」という言葉を胸に焼き付けて活動を継続しています。


新井代表理事の説明を聞く駆け込み寺相談員

新聞掲載 『県南ホッと駆け込み寺』

2024年1月30日の河北新報に掲載されました。毎週水曜日にコツコツと続けて2年、県南地域の皆さんの心のよりどころです。


幸民　2024年（令和6年）1月30日（火曜日）みやぎ　16版 B（16）

DV、モラハラ、身内の死…

駆け込み寺で心を「ホッと」

岩沼

傾聴2年目 今後も気軽に

心に重荷や不安を抱えている人の話を聞く岩沼市の傾聴サロン「県南ホッと駆け込み寺」が活動2年目に入った。相談は無料で、「誰にも相談できない悩みや苦しみを話して、少しでも心が軽くなってほしい」と利用を呼びかける。

サロンは一般社団法人東北駆け込み寺（仙台市、通称・仙台駆け込み寺）の相談員が「県南の人が相談しやすいように」と2022年9月に設立した。相談員は40～70代の男女9人。毎週水曜午後1～4時、岩沼市勤労者活動センターで電話と面談に応じる。

昨年は面談41件を含む44件の相談があった。ドメスティックバイオレンス（DV）やモラハラ、ひきこもり、身内の死など、家庭の問題が多い。相談員は相手が話しやすいよう聞き役になって心に寄り沿う。

相談員で大河原町の主婦渡辺真由美さん（55）は「胸の内を打ち明けるのは勇気のいること。対話を通じて『気付きがあった』と言われることが活動の励みになる」と語る。

代表を務める岩沼市の青柳信治さん（73）は「プライバシーは守られるので気軽に相談してほしい」と話す。面談は電話や仙台駆け込み寺のホームページから予約もできる。連絡先は080（8990）4696＝水曜午後1～4時＝。

無料相談の活動を続ける「県南ホッと駆け込み寺」の相談員たち

みやぎ ●街ひと

2024年1月の相談状況

【相談内容別】

・ＤＶ	0件
・家庭の問題	6件
・ストーカー	0件
・自殺の問題	0件
・心の問題	10件
・職場の問題	6件
・生活の問題	4件
・病気の問題	1件
・被災の問題	2件
・ホームレス	2件
・恋愛の問題	0件
・お金の問題	0件
・その他	8件
合計	39件

【年代別】

・10代	0件
・20代	1件
・30代	7件
・40代	10件
・50代	9件
・60代	1件
・70以上	4件
・不明	7件
合計	39件

【男女別】

・男性	16件
・女性	23件
合計	39件

【ボランティア延べ人数　109人】

1月は能登の被災者から2件の相談がありました。

一般社団法人東北駆け込み寺
〒980-0811 仙台市青葉区一番町2丁目3-28
022－200－6002